

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 (当社ホームページURL http://www.manac-inc.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載する方法で行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により
先端技術産業が求める機能を開発・提供する

研究開発型モノづくり会社です。



第69期のご報告

株主通信

2013年4月1日▶2014年3月31日



〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
TEL.084-954-3330 FAX.084-957-4370

<http://www.manac-inc.co.jp/>



証券コード: 4364



代表取締役社長 杉之原 祥二

ごあいさつ

まず初めに、2013年6月16日(日)に発生いたしました、当社連結子会社である八幸通商株式会社鹿島工場における火災につきまして、近隣住民の皆様をはじめ関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

マナックは江戸時代から行われていた製塩業をルーツに、1948年に広島県福山市に誕生しました。この瀬戸内の海から生まれた技術を世界に通用する臭素化、ヨウ素化の化学合成技術へと進化させ、難燃剤や医薬品原料、高機能ポリイミドなどの分野で、高機能製品を生み出してまいりました。

「社会的存在価値のある製品を提供し続ける」という確固たる信念のもと提案型研究開発を推進するマナックでは、これからも次世代エレクトロニクス、医薬品、情報記録材料など先端技術産業に携わるお客様からの「高度なニーズ・潜在的なニーズ」にお応えできる製品の開発に努めてまいります。

マナックは国際市場をターゲットに、国内、海外の垣根を取り払ったグローバル企業として、環境とグローバル・スタンダードへの対応強化に全力で取り組む所存です。株主の皆様には今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに
社会の進化・発展に貢献する』

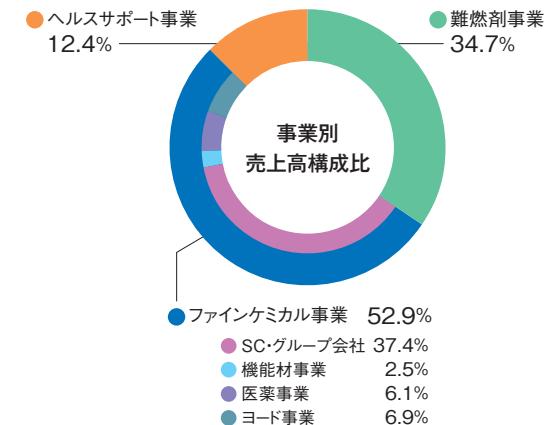
～進化する技術、
そして進化する人間をめざして

経営理念

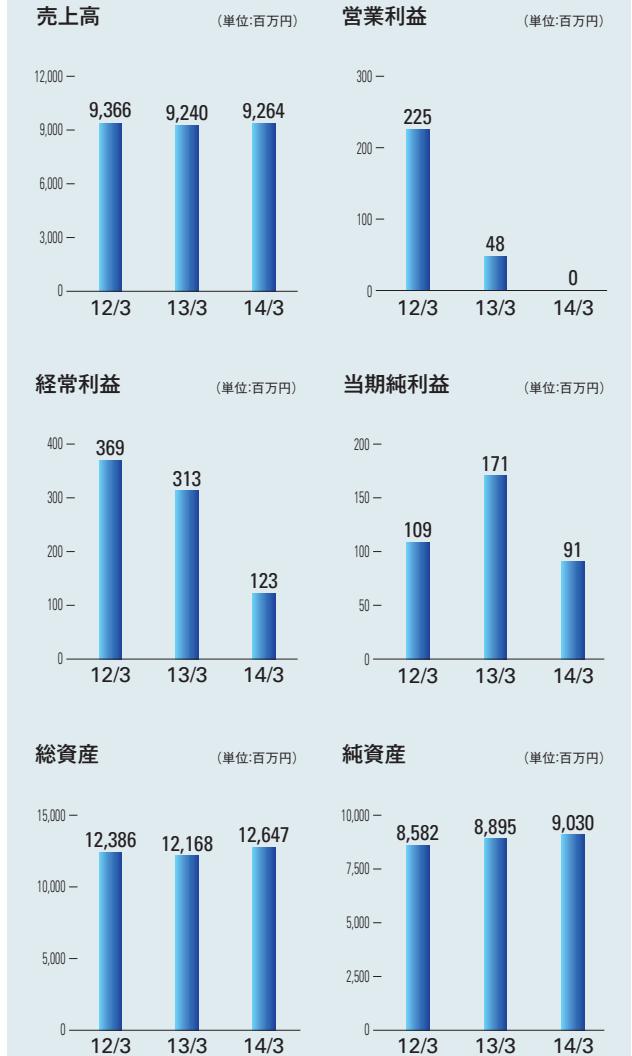
- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

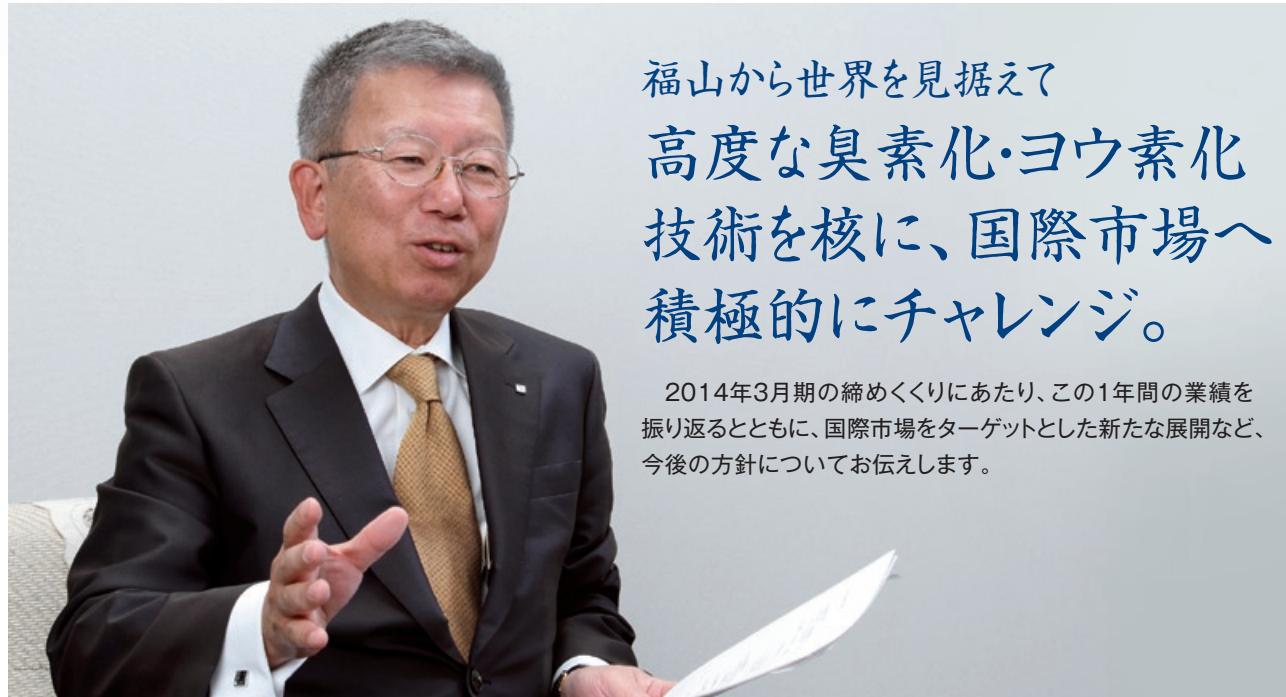
第69期当社グループの売上高は、9,264百万円(前期比+23百万円)と微増となりました。利益面では、高付加価値製品の伸び悩みや、2013年6月に当社連結子会社である八幸通商株式会社鹿島工場で発生した倉庫火災事故の影響もあり、利益面では、営業利益は0百万円(同△47百万円)、経常利益は123百万円(同△190百万円)、当期純利益は91百万円(同△79百万円)と減益となりました。

セグメント別の売上高は、ファインケミカル事業の売上高は4,903百万円(前期比△103百万円)、難燃剤事業の売上高は3,214百万円(同+169百万円)、ヘルスサポート事業の売上高は1,147百万円(同△42百万円)となりました。



■ 連結財務ハイライト





福山から世界を見据えて 高度な臭素化・ヨウ素化 技術を核に、国際市場へ 積極的にチャレンジ。

2014年3月期の締めくくりにあたり、この1年間の業績を振り返るとともに、国際市場をターゲットとした新たな展開など、今後の方針についてお伝えします。

Q 2014年3月期の概況についてお聞かせください。

A アベノミクスやそれに伴う円安の効果などから、景気は緩やかな回復基調にあるとの観測もありましたが、当社および当社のお客様の事業分野ではそういった恩恵を受けにくかったことから、本体の業績はほぼ横ばいとなりました。また巻頭の「ごあいさつ」でもご報告しましたとおり、子会社における火災事故による2か月間の操業停止の影響を親会社がカバーし切れなかったことなどから、連結全体としては業績がダウンする結果となりましたことを、お詫び申し上げます。

特に原材料がじわじわ値上がりする中、海外品、中でも中国品との競争が厳しく、値上りが分を売値に転化できなかったことも業績が

伸び悩んだ原因となりました。中国品につきましては低価格である上にだんだんと品質も上がってきている状況にあり、品質面、保証面だけでなく、価格も含め総合的に対抗できる製品の開発が急務であると考えております。同時に東南アジアのマーケット、特に韓国、台湾、中国への当社難燃剤の販売展開も強化してまいります。

Q 各事業分野の状況はいかがでしたか。

A 難燃剤事業では、リーマンショックにより大きく落ち込んだ売上を、それ以前の水準に回復することができました。その理由としては全体的な市況の回復のほか、特定の建築用途の難燃剤で懸念されておりました環境問題をクリアする代替品の開発を進め、これが2013年度より本格的に立ち上がってきたことがあげら

れます。引き続き2014年度もさらに伸びるものと期待しております。

ファインケミカル事業について、機能材料、電子材料の分野では新製品の開発に積極的に取り組みました。2013年度は、次世代型の基盤を製作するための原料としてのヨウ素製品や、数年をかけて開発を進めてまいりました有機EL原料が大きく伸びると計画しておりました。残念ながらお客様の事業の本格化が遅れたため、当社の売上もずれ込むこととなりましたが、2014年度には大きく売上に貢献するものと考えております。一方、国際的なヨウ素の高騰および円安を背景に、ヨーロッパ向けのヨウ素製品の開拓に注力してまいりました結果、まだ金額は少ないものの2013年度は前年の3倍以上の売上となっており、今後の伸びが期待されます。

医薬分野では前年度のような数年に一度生産するような大きなスポットの受注はなかったものの、手堅く推移しました。

ヘルスサポート事業は、透析薬剤の製造販売としてお客様から長年の信頼を得ており、ほぼ例年通りに推移しました。これに加え開発を進めてまいりました「Etak(イータック)」が、一部お客様の実需につながり始めました。

Q Etakとはどのような製品ですか。

A Etakは、固定化できるエトキシシラン系の消毒成分で、広島大学大学院の二川浩樹教授と当社が共同開発しました。その特長は病原微生物を継続的にシャットアウトできることで、インフルエンザウイルスなどにも高い抗菌効果を発揮します。また、もともと入れ歯の土台のフッ素樹脂の部分に抗菌し、お年寄りの歯磨きの回数を減らすことを目的に開発された製品であり、非常に高い安全性を有しています。

当社では2009年以降、Etak(ESI-QAC)を各社に供給し、各社において独自の研究開発が行われています。これまでも、白衣をはじめ最近ではカーペット関係にも積極的な製品化が行われている防臭抗菌加工繊維「クレンゼ」(クラボウ製品)、抗菌ゴルフ手袋「リフレフィット」(キャスコ製品)、抗菌靴下(ワカバ製品)、マスク用スプレー「クリスタルヴェール®マスク抗菌24」(エーザイ製品)など、多くの製品が開発・販売されています。

当社ではEtakを、次亜塩素酸などに代わるきわめて安全性の高

い抗菌剤として、一般消費者への認知度の向上を図るとともに、各社の商品開発にも積極的に協力してまいります。また唯一のメーカーとして安定的な供給にも努めてまいります。



Q 中国における新工場の建設についてお聞かせください。

A 当社グループとしては、南京八幸業業科技有限公司が1994年より現地生産を行っており、長年の中国での工場運営の実績を有しています。今回の計画は、この現地実績と日本のマナックの技術力、品質保証力を融合した国際競争力を持つ新工場の建設を実現するもので、建設期間は2年を予定しています。

建設場所は南京化学工業園区という中国国内でもトップクラスの工業団地内で、欧米の企業の進出も盛んなところです。中国の法令の関係で現地法人を立ち上げる形になりますが、マナックとしては主力の福山工場に次ぐ第2の直営工場という位置付けと考えており、グローバル・マナックの拠点ともなる施設です。

南京の周辺に広がる江蘇省には日系のお客様も多数おられますので、この新工場を新しい大きな武器として今後のアジアにおける市場開拓に取り組んでまいります。

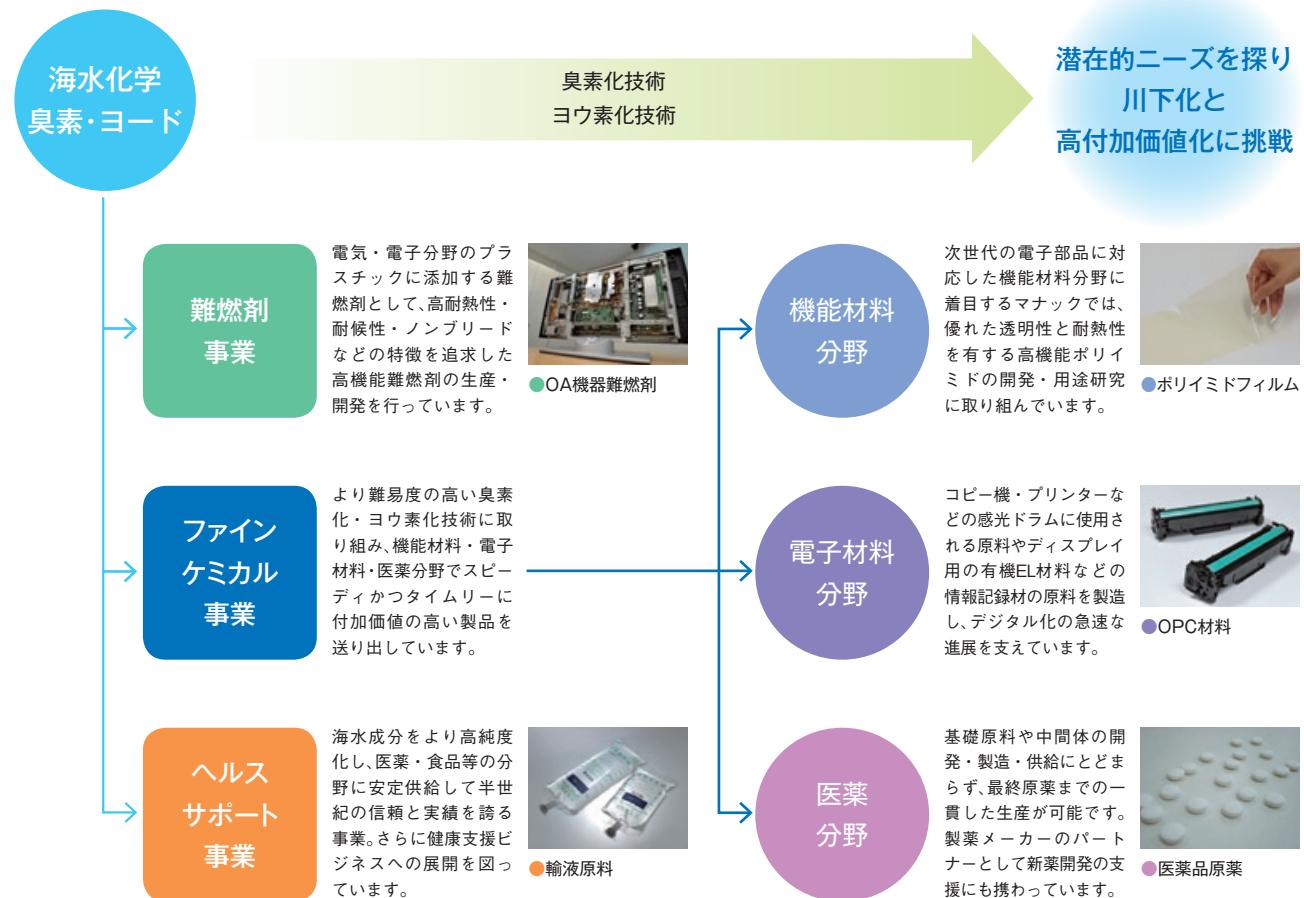
Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A リーマンショック以降、業績が横ばいという状態が続いておりましたが、このところ開発品も目に見える形で増えてきており、市場全体の活性化も感じられるようになってまいりました。

まだ一足飛びというわけにはいきませんが、年度計画を確実にこなすことをベースに、現在の勢いをさらに加速させ業績、特に利益率の向上に努めてまいります。また、配当に関しましても安定配当を続けてまいりたいと考えております。株主の皆様には今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

海水化学を原点に多くの高機能素材を研究・開発、グローバル・マーケットに挑戦しています。

海水化学をルーツとするマナックは、長年にわたり蓄積した臭素化・ヨウ素化の技術力・開発力を強みに、電子・情報・医薬といった先端技術産業のパートナーとして様々な素材の高機能化に役立ってきました。今後はさらに提案型研究開発に力を入れ、製品の川下展開と高付加価値化による事業の拡大を目指します。



必要とされる機能を発想して研究テーマに。コア技術をベースに提案型研究開発を進めています。

高次化合物の合成技術が集積する研究開発部門では、研究者がマーケットと直結することでニーズを先取りし、提案型研究・製品開発を進めています。事業の川下化、産学官との連携など、技術領域の拡大に向けた取り組みも積極的です。

研究・技術開発概要



提案型開発を重視した研究開発体制と蓄積した技術により、顧客ニーズの開拓を進め、電子材料分野・医薬分野の新たな領域を支えます。

技術情報



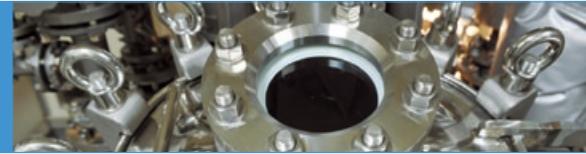
高選択的ハロゲン化反応、異種ハロゲン化とクロスカップリング反応を駆使した高次化合物合成により高難度の顧客ニーズにお応えしています。

受託システム



営業と研究開発、生産現場が密接に連携し、提案からサンプル合成、製品化までをスピーディーに行う研究体制を確立し、難度の高いご要望に対応しています。

生産体制



マルチプラントの使用で多品種・少量型のフレキシブルな生産を可能に。さらにフィードバックシステムにより圧倒的なスピードと品質・安全確保を実現しています。

品質保証



ISO9001の認証取得とGMP遵守を徹底し、厳格なプロセス管理と高度な分析力でお客様の信頼と満足を得る品質の製品をご提供しています。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在		当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	7,759	7,552	流動負債	2,817	2,769
現金及び預金	1,657	1,179	買掛金	1,231	1,220
受取手形及び売掛金	2,721	2,862	短期借入金	923	912
有価証券	128	268	未払法人税等	33	25
金銭の信託	1,200	1,100	賞与引当金	93	114
商品及び製品	1,007	1,058	その他	535	497
仕掛品	394	450	固定負債	799	503
原材料及び貯蔵品	410	420	長期借入金	538	196
繰延税金資産	102	96	役員退職慰労引当金	54	54
その他	139	118	負ののれん	—	40
貸倒引当金	△ 2	△ 2	その他	206	210
固定資産	4,888	4,615	負債合計	3,616	3,272
有形固定資産	2,995	3,027	純資産の部		
建物及び構築物	1,043	1,077	株主資本	8,748	8,716
機械装置及び運搬具	631	588	資本金	1,757	1,757
土地	1,138	1,138	資本剰余金	1,947	1,947
建設仮勘定	27	48	利益剰余金	5,286	5,255
その他	153	174	自己株式	△ 243	△ 243
無形固定資産	2	2	その他の包括利益累計額	282	178
投資その他の資産	1,890	1,585	その他有価証券評価差額金	184	135
投資有価証券	1,565	1,265	為替換算調整勘定	98	38
長期貸付金	108	109	繰延ヘッジ損益	—	3
繰延税金資産	—	1	純資産合計	9,030	8,895
その他	217	209	負債純資産合計	12,647	12,168
貸倒引当金	△ 0	△ 0			
資産合計	12,647	12,168			

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで	前 期 2012年4月 1 日から 2013年3月31日まで
売上高	9,264	9,240
売上原価	7,716	7,584
販売費及び一般管理費	1,547	1,608
営業利益	0	48
営業外収益	169	288
営業外費用	46	23
経常利益	123	313
特別利益	97	7
特別損失	79	21
税金等調整前当期純利益	141	299
法人税、住民税及び事業税	37	64
法人税等調整額	11	63
当期純利益	91	171

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで	前 期 2012年4月 1 日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	457	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 549	△ 434
財務活動によるキャッシュ・フロー	292	△ 231
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217	△ 81
現金及び現金同等物の期首残高	1,202	1,283
現金及び現金同等物の期末残高	1,419	1,202

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCFは457百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益や減価償却費等の非資金項目を調整したことなどによるものです。

投資活動によるCFは549百万円の支出となりました。これは主に、定期預金の預入や投資有価証券の取得に使用したものです。

財務活動によるCFは292百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金の調達によるものです。

これらの結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ217百万円増加し、1,419百万円となりました。

■ 配当関連情報

当社の株主還元方針

利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本純利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、利益配当額を決定していく予定です。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、中間配当については、取締役会、期末配当については、株主総会であります。

第69期の配当金

第69期の期末配当金につきましては、1株当たり5円とすることに決定いたしました。これにより、第69期の年間配当金は、中間配当金2円50銭を加え、7円50銭となりました。



■ 株式の状況 (2014年3月31日現在)

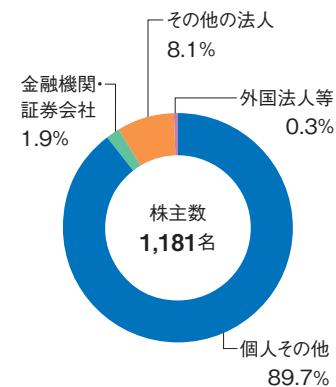
発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	1,181名

大株主（上位10名）

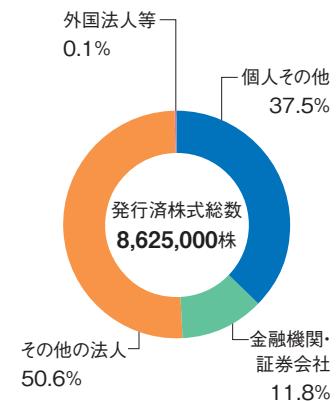
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東ソー株式会社	1,608	20.0
一般財団法人松永財団	916	11.4
三菱製紙販売株式会社	607	7.6
株式会社広島銀行	322	4.0
マナック社員持株会	301	3.8
杉之原祥二	254	3.2
合同資源産業株式会社	200	2.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	139	1.7
光和物産株式会社	121	1.5
日本生命保険相互会社	118	1.5

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株主数別分布状況



■ 株式数別分布状況



■ 会社概要 (2014年3月31日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
設立	1948年(昭和23年)5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	176名 (グループ従業員数 305名)
事業内容	難燃剤、医薬品、食品添加物、写真感光材料、高機能性材料、電子材料、染料、香料など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給

■ 役員 (2014年6月24日現在)

代表取締役社長	杉之原 祥二
代表取締役専務	朱山 秀雄
常務取締役	村田 耕也
取締役	北村 彰秀
取締役	石井 潔
取締役	峰重 克己
取締役	千種 琢也
常勤監査役	日野 智章
監査役	内海 康仁
監査役	本田 祐二

(注) 1. 取締役 峰重克己氏及び千種琢也氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 内海康仁氏及び本田祐二氏は、社外監査役であります。

■ 主な事業所

本社	〒721-0956 広島県福山市 箕沖町92番地 TEL : 084-954-3330 FAX : 084-957-4370	
東京支社	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階 TEL : 03-3242-2561 FAX : 03-3242-2564	
大阪営業所	〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目4番6号 ミフネ道修町ビル8階 TEL : 06-6205-6771 FAX : 06-6227-5978	
福山工場	〒721-0956 広島県福山市 箕沖町92番地 TEL : 084-954-3330 FAX : 084-953-8523	
郷分事業所	〒720-0093 広島県福山市 郷分町950番地の1 TEL : 084-951-2501 FAX : 084-951-2502	

■ 子会社

八幸通商株式会社	〒103-0025 東京都中央区日本橋 茅場町2丁目7番6号 晴花ビル3階	
南京八幸薬業科技有限公司	中国南京市 溧水縣白馬鎮 ※100%出資の 連結子会社です。	
事業内容	化学薬品の製造、販売	
社名	エムシーサービス株式会社	
本社	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地	
事業内容	倉庫賃貸、事務業務の受託	
社名	ヨード・ファインケム株式会社	
本社	〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目12番6号 東信商事ビル7階	
事業内容	ヨード化合物の製造、販売	

■ 関連会社